



第 二次世界大戦中、ナチスドイツの迫害に追われ、隠れ家生活をすることになった14歳の少女、アンネ・フランク。彼女は屋根裏部屋の天窓から、よく外の景色を眺めていたことを日記に書いています。「この日光、この雲のない青空があり、生きてこれを眺めている間、わたしは不幸ではないと心の中で思いました」——外に美しく広がる世界は、彼女にとって何より大きな「希望」だったのかもしれません。そして、彼女が2年にも及ぶ逃亡生活の中で書き続けた『アンネの日記』は今も世界中の人に読み継がれています。

苦しいとき、つらいときは、顔を上げて空を眺めてみましょう。

豚肉に片栗粉まぶし
タマミ油で焼く → カットした梨を入れ
塩・コショウ等で
炒める

み言叶いただきありがとうございました

秋の夜長に
のんびり 読書などしてみたいですね!

「少年時代」 読んでみたい本です。
なにか、おすすめの本、ありましたら
ぜひ、教えてください。

先日、研修先の隣の横浜市民ギャラリーに
立ち寄ってみました。

「再生の空間」というテーマ
今までの価値感だとこれから対応して
いけないとの作者に同感しました。
これからどうやって世界を見たらよいのかどうか
もう一度考えて、自分の見方を手探りで「くわいい」
「再生」という言葉、作品は映像が多く
感覚的でしたが、インスピレーションを感じました。

エピソード10. K様男性

体調悪い息子さんと2人暮らし
認知病状が進みフォローライフ
暮らすことになりました。
とてもまじめな性格のK様
なかなか、笑顔を見られません
ある時、スタッフが皆と歌って
いると…(歌は、音楽はあります)
K様は「歌を曲したのですが?」
と、皆の笑顔を見て
K様もニッコリと笑了!



青木